

2018年11月 (No.353)

主な内容とページ

2年半にわたり継続した好況が終結.....	1
日本向けも5期連続1兆円台.....	3
海外組立用非実装輸出が初の5,000億円台.....	3
10四半期(2年半)の好況に幕.....	4
日アジア欧州半導体企業18年度第3四半期業績.....	5
これが最後? 良好な四半期、米大手半導体企業.....	9
インテルとTIのCEO不在.....	9
器用貧乏(SRL だより).....	12

2年半にわたり継続した好況が終結

半導体産業の好況は18年第3四半期で終結。2年半にわたり恵まれた環境だった。

1. 好況をけん引したメモリのトップ、サムスン電子が第4四半期でDRAM価格の軟化を想定。追随する他社も伸びは鈍化、転換点を越したようだ。
2. 日系半導体はメモリ依存度が低く、総じて控え目な動きにとどまった。
3. 2年半にわたる好況、メモリメーカーの巨額の利益。かつてない出来事で、これほど好調な環境が持続されると予想する向きは少なかった。

器用貧乏

来年10月に予定されている消費税の10%への引き上げ。負担軽減のための軽減税率の適用を巡って適用か否か議論が行われている。とくに飲食品は、店内で食べるか、外食か、適用方法は異なり、少し複雑な感じ。世界的にややこしい税制は機能しないのが相場。本当に日本人は真面目で、お上に忠実だと思う。

キャッシュレス化が世界的に進行しているが、わが国はこれから。というより現金でもそれほど不便はない。現金は使える場所が限られ、街中に自販機やATMを設置すればすぐに盗まれるようなこともない。しかし、世界的な潮流には逆らえず、うっかりすると携帯電話が陥ったガラパゴス化と同じ運命になりかねない。

真面目で器用、お上に忠実、どれも誇れる国民性だが、大きな変化や革新的な進歩には、対応が遅れる傾向がある。全方位だが、世界的には中途半端になってしまう。昔だったら何とかあったが今の時代は、生半可では済まされない。勝者総取りの世の中で、われわれのハイテク産業も同じ立場に置かれている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報をSRL(半導体総合研究所)の解釈と分析で表現したものです。

2018年 著作権所有 SRL(半導体総合研究所)

SRL Monthly Report

2018年11月(毎月1回発行)第29巻11号(通巻353号)

発行元:株式会社 SRL
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-1-35
TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023
編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

November 2018, No.353

Semicon Research Ltd.
3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014
Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp
Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2018

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)